

分野		科目名		配当年次		開講期	
専門分野Ⅱ		母性看護学Ⅲ		2 年次		後期	
単位数		時間		担当教員		実務経験の有無	
1 単位 (30 時間)		分娩期 10 時間		非常勤講師 助産師		有	
		産褥期・新生児期 20 時間		大島 ゆかり 専任教員		有	
授業 の概 要	1) 分娩期にある対象の身体的・心理的特徴を理解し、持てる力を引き出しながら、安全で安楽な出産に繋げるための看護を学ぶ。 2) 産褥期・新生児期にある対象の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、母子が健康的に過ごすための看護を学ぶ。						
到達 目標	<分娩期> 1) 分娩のメカニズムが理解できる。 2) 産婦の身体的・心理的特徴を踏まえた看護が理解できる。 3) 分娩期に起こりやすい異常と看護が理解できる。 <産褥期> 1) 産褥のメカニズムが理解できる。 2) 褥婦の身体的・心理的・社会的特徴を踏まえた看護が理解できる。 3) 産褥期に起こりやすい異常と看護が理解できる。 <新生児期> 1) 出生直後の新生児の生理的特徴と、胎外生活への適応過程が理解できる。 2) 新生児の特徴を踏まえた観察技術と看護が理解できる。						
授業 計画	No.	授業内容			授業方法		備考
	1	分娩のメカニズム			講義		非常勤講師
	2	胎児の健康状態			講義		非常勤講師
	3	産婦の身体的・心理的・社会的特徴			講義		非常勤講師
	4	分娩期に起こりやすい異常と看護 帝王切開を受ける褥婦の看護			講義		非常勤講師
	5	安全・安楽な分娩に向けた分娩期の看護と持てる力を引き出す援助			DVD・講義		非常勤講師
	6	産褥のメカニズム～褥婦の退行性変化			講義		大島
	7	産褥のメカニズム～褥婦の進行性変化			講義		大島
	8	褥婦の身体的・心理的・社会的特徴			講義		大島
	9	産褥期に起こりやすい異常と看護			講義		大島
	10	産褥期のアセスメントと看護			ペアワーク		大島
	11	新生児の出生直後～胎外生活への適応過程と持てる力			講義		大島
	12	出生直後の看護			講義		大島
	13	移行期の看護			講義		大島
	14	移行期以降の生理的特徴と持てる力			講義・演習		大島
15	新生児期の観察技術と看護			講義・演習		大島	
評価	分娩期 (30 点)・産褥期 (35 点)・新生児期 (35 点) と合わせて、60 点以上単位履修とする。						
参考 文献	1. 有森直子他. 母性看護学Ⅱ. 周産期各論. 2015. 2. 堀内成子. パーフェクト臨床実習ガイド. 母性看護実習ガイド. 照林社. 2007. 3. 櫛引美代子. カラー写真で学ぶ周産期の看護技術第 2 版. 医歯薬出版株式会社. 2007.						
備考							